環境関連法規定等の遵守状況

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）	遵守状況
廃棄物処理法	一般廃棄物収集業者の許可証保管、産業廃棄物収集運搬・処理業者との契約書・許可証保管、保管基準の遵守、マニフェスト交付・保管、「産業廃棄物管理票交付等状況報告書」の提出、処理業者の実地確認、処理困難通知への対処	○
騒音規制法	規制基準の遵守（印刷機械、加工機械、コンプレッサー等）	○
ＰＲＴＲ法	特定化学物質（ＰＲＴＲ法該当品）、製品安全データシートの保管	○
グリーン購入法	環境配慮型製品の優先的購入（インキ、印刷用紙、事務用品、日用品）	○
フロン排出抑制法（旧フロン回収・破壊法）	簡易・定期点検の実施、漏えい発見時の対応、点検整備記録簿の記録・保存、算定漏えい量の報告、廃棄する際のフロン類の回収（対象機器：業務用空調機）	○
消防法	消火設備の点検（消火栓、火災報知器、消火ポンプ、消火器）、消防訓練	○

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境法規等の逸脱はありませんでした。
なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去３年間ありません。

環境に関する持続的な取り組み

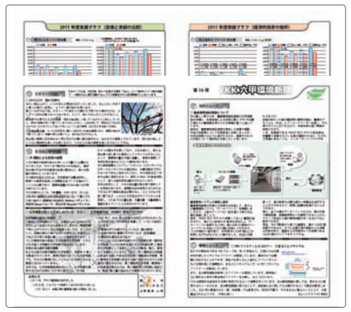
■ ビオトープの環境維持

水質浄化の一環として、植物をはわせた小さな植物アーチの設置を進めています。日陰を作ることで、藻の発生や繁殖を抑制していきます。

■ 清掃活動

毎月１回の清掃活動を継続しています。今年度からは、隣のＹＫＫＡＰ六甲窓工場の方々と合同で行っています。

■ 環境新聞の発行



環境知識の共有と社内の環境意識向上を目指して毎月１回発行しています。（現在 54 号まで発行）

環境に関する新たな取り組み

■ フロン法改正における対策

2015 年４月、「フロン回収・破壊法」が改正され、新たに「フロン排出抑制法」が施行されました。フロン類を使用する業務用冷凍機器や空調機器を所有するユーザーも『管理者』としての取組が義務付けられ、我が社も規制対象となりました。
管理者が負う義務のうち、下記の項目においては 2015 年度より毎年実施します。

【 2015 年度からの対策（対象機器：業務用空調）】

- **定期点検**　３ヶ月に１回、定期点検を実施します。
- **定期洗浄**　半年に１回、空調のフィルターや外気取入口等のフィルター洗浄を実施します。
- **記録・保存**　機器ごとに点検記録簿に履歴を記録し、機器を廃棄するまで保存しておきます。

印刷現場の空調

代表者による全体評価と見直しの結果（主要３項目）

【電力使用量】社員の協力のもと取組を実行し目標達成できましたが、取組の効果が実感できないままでは意識向上や活動の習慣化にもつながりにくいことから、次年度は工場内の主な機器の電力測定を行い、定量的評価の実現を目指します。

【古紙排出量】さまざまな排出要因が混在する古紙を確実に削減するためには、削減対象の絞り込みと地道な取組の積み重ねが不可欠です。次年度は印刷の課題でもある『印刷ペケ』に焦点を当て、日常業務と環境が一体化した取組を展開していきます。

【水使用量】目標達成はできませんでしたが、使用量調査の結果から、夏場・冬場それぞれの増加原因がほぼ特定できました。冬場の増加原因である加湿器の稼働においては、業務上、停止することは難しいですが、夏場の水やりにおいては改善の余地がありますので、できる範囲から改善策を進めていきます。

EA21
2014 年度環境活動レポート

対象期間 2014 年４月～2015 年３月

YKK 六甲株式会社

発行日：2015 年５月 11 日

環境方針

【環境理念】

私たちは、環境負荷の低減が恵み豊かな地球環境を守るための重要な課題と認識しています。
そのためにＹＫＫ六甲全社員は、一丸となって自主的・積極的に環境保全活動に取り組みます。

【行動方針】

1. 体制の整備
2. 生産における環境配慮
3. 事業活動に伴う環境負荷の低減
4. 環境監査による環境管理意識の向上

【環境保全の行動指針】

1．次の事項について環境目標・活動計画を定め、継続的な改善に努めます。
- ①二酸化炭素排出量の削減（低炭素社会への対応）
  - ◇設備機器等におけるエネルギー節約
- ②廃棄物排出量削減及び再資源化の推進（循環型社会への対応）
  - ◇廃棄物の発生そのものを抑える取組
  - ◇リサイクルの促進
- ③水使用量の削減（水資源の保全）
  - ◇水の効率的利用及び日常的な節水
- ④グリーン購入
  - ◇再生材料等から作られた製品の優先的購入
  - ◇環境ラベル認定等製品の優先的購入
  - ◇事務用品及び日用品のグリーン購入の推進
- ⑤製品への環境配慮
  - ◇簡易包装の推進：包装紙・厚紙・封筒購入量の抑制
  - ◇工程の簡素化：PODの推進と拡大
- ⑥環境活動
  - ◇周辺地域への貢献活動

2．環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。

3．環境への取り組みを環境活動レポートとしてとりまとめ公表します。

制定日 2009年8月8日
改定日 2014年6月3日　　YKK六甲株式会社　代表取締役社長　松岡 弘

登録事業所の概要

1）事業所名及び代表者名

YKK六甲株式会社　代表取締役社長　松岡 弘

2）所在地

兵庫県神戸市東灘区向洋町西４丁目2番地

3）環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者　代表取締役社長　　松岡 弘
担当者　環境・安全衛生　　山崎 佐弥香

4）事業内容（認証・登録の範囲）

・印刷業（取扱説明書・カタログ・YKKグループ社内報等）
・WEBサイトの企画・運営
・書類保管の受託業務　・ビス詰め作業

5）事業の規模（計画値）

製品出荷額	275百万円
主要製品生産量（印刷物）	132.7t
従業員	21名
延べ床面積	1,774m^2

主な環境負荷の実績

項 目	単 位	2012年度	2013年度	2014年度
二酸化炭素排出量	Kg-CO_2（排出係数）	147,594（0.638）	146,712（0.638）	126,378（0.638）
（電力使用量）	kwh	231,339	229,956	198,084
古紙排出量	kg	52,350	60,580	52,690
古紙排出量（kg）÷印刷のみの売上（千円）	kg/千円	26.4	28.2	28.0
産業廃棄物排出量	kg	3,380	2,320	2,550
水使用量	m^3	549.0	722.0	765.0

環境目標

項目		単位	基準		2014年度		2015年度		2016年度	
			基準値	年度	目標	対比	目標	対比	目標	対比
二酸化炭素排出量の削減（電力）		kWh	245,338	2011	237,978	97%	235,524	96%	233,071	95%
		Kg-CO_2	156,526		151,830		150,265		148,699	
廃棄物	古紙の削減	kg	42,490	2010	40,790	96%	2014年度で取組終了		—	—
	印刷ペケの抑制（項目改訂） 定期刊行物Ｎ	%	15.3	2014	—	—	15.0	—	15.0	—
	印刷ペケの抑制（項目改訂） 定期刊行物Ｓ	%	14.1		—	—	10.0	—	10.0	—
	シュレッダーくずの削減	kg	95.6	2013	95.6	100%	95.6	100%	95.6	100%
	産業廃棄物の削減	kg	2,770	2009	2,632	95%	2,604	94%	2,576	93%
水使用量の削減		m^3	777.0	2009	738.2	95%	730.4	94%	722.6	93%
グリーン購入の推進	用紙	%	12.5	2009	17.5	140%	18.5	148%	19.5	156%
	インキ	%	50.7	2009	55.7	110%	56.7	112%	57.7	114%
	事務用品	%	42.1	2011	45.1	107%	46.1	110%	47.1	112%
	日用品	%	3.5	2011	6.5	186%	7.5	214%	8.5	243%
製品への環境配慮	包装紙等	kg	4,682	2010	4,588	98%	4,541	97%	4,494	96%
	PODの推進	百万円	26.0	2011	32.6	125%	33.9	130%	35.2	135%

※ POD＝プリント・オン・デマンド

環境活動の取り組み計画と評価

取り組み計画		単位	基準年度	2014年度達成状況 目標	実績	達成率（目標対比）	評価（結果及び今後の方向）
二酸化炭素 ・ノー残業デー ・消費電力カット ・ピークスライド ・不要照明の消灯　など		kwh	2011年度 245,338	237,998	198,084	120%	目標値を達成できました。 さまざまな取組を行ったこともあり、どの取組が削減要因なのかわかりませんが、昨年度と比較すると約14%の削減できていることから、12～13年度に行われた「省エネ型空調への切替」による効果が大きいと思われます。
		Kg-CO_2	156,526	151,830	126,371	120%	
		排出係数	0.638	—	—	—	
廃棄物	**用紙・包装紙** ・排出古紙の分析 ・低減策検討	kg	2010年度 42,490	40,790	52,690	77%	目標達成はできませんでした。 次年度は、印刷の日常業務でもある『印刷ペケ』に削減対象を絞ることで、今後具体的な取組へ展開していく予定です。
	シュレッダーくずの削減 ・現状把握	kg	2013年度 現状把握	—	113.2	—	目標設定はしていませんが、今後も排出量の把握は継続していきます。
	産業廃棄物 ・廃パレットの返却 ・分別の徹底 ・産廃処理業者の実地確認	kg	2009年度 2,770	2,632	2,550	103%	目標値を達成できました。 パレットの返却、廃棄物の分別ルールの徹底等、今後も継続していきます。
水道水 ・ビオトープの水質改善 ・加湿器排水の利用		m^3	2009年度 777.0	738.2	765.0	96%	目標値を達成できませんでした。 水使用量を調査した結果、夏場の水やりと冬場に稼働が集中する加湿器（現場）が増加原因であることがわかりました。業務上、加湿器の停止は難しいため、実情に合った低減策を検討していきます。
グリーン購入	**用紙** ・環境配慮型銘柄の優先的購入	%	2009年度 12.5%	17.5%	35.3%	202%	用紙、インキともに、順調に目標値を達成することができました。 作業効率向上のため、速乾性のあるインキへの代替が行われました。従来品との品質の違いから、異なったデメリットが生じる可能性があるため、今後も様子を伺っていきます。
	インキ ・環境配慮型銘柄の優先的購入	%	2009年度 50.7%	55.7%	98.8%	177%	
	事務用品 ・環境配慮型銘柄の優先的購入	%	2011年度 42.1%	45.1%	50.9%	113%	事務用品・日用品ともに、目標値を達成することができました。 購入の際には、環境負荷の小さいものを優先的に購入するほか、商品自体の必要性を十分に考慮することも心がけていきます。
	日用品 ・環境配慮型銘柄の優先的購入	%	2011年度 3.5%	6.5%	14.5%	223%	
環境配慮	**簡易包装の推進** ・簡易包装の推進 ・厚紙断裁方法の見直し	kg	2010年度 4,682	4,588	1,733	265%	目標値を達成できました。 厚紙の断裁方法を見直しましたが、一定期間が過ぎたところで、得られた効果を報告していきます。
	POD推進と拡大 ・ＰＯＤの推進と拡大	百万円	2011年度 26.0	32.6	51.6	158%	目標値を達成できました。 定期刊行物の取り込みによるものと考えられます。

統括

省エネ型空調の取替等、設備面の対策が中心となった昨年度に対し、今年度は人が行う取組を多く取り入れました。社員の理解はある程度得られ、順調に進めることができましたが、目標達成状況を確認するだけでは取組による効果は実感できず、やる気が続いかないことが懸念されます。
今後は行った取組に対して定量的評価を行い、協力してくれた社員へその結果を説明してすることで意識向上を図る必要があります。